

小～中規模店舗・施設向け
業務用エコキュート

小型機 15kW

加熱能力 **15kW**
貯湯量 **500L 1000L 1500L**
グリーン購入法

CHP-151005

15
kW



リモコン
(CHP-R15)



貯湯タンクユニット
(CHP-500TH)

熱源機
(CHP-15HF)

■フレキシブルなシステム構成が可能

500/1,000/1,500Lの3種類の貯湯タンクにより、さまざまなタンク構成・給湯システムの構築が可能です。既設の貯湯タンクのご利用や、熱源機の数台設置、即湯循環システム、2,000L以上の貯湯タンクにも対応可能です。また、スペースを抑えた設置が可能です。

■安心の設計・仕様変更にも対応可能

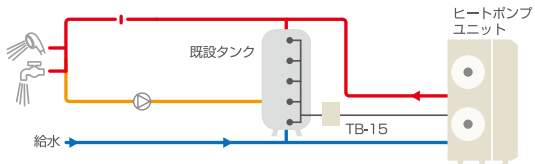
耐塩害仕様、寒冷地仕様などに対応し、条件の厳しい設置場所でも安心。貯湯タンクユニットは2002年より販売を続けている信頼の設計。

システムイメージ／リモコン

柔軟性に富んだシステム構成

※イメージ

既設タンクと組み合わせた場合

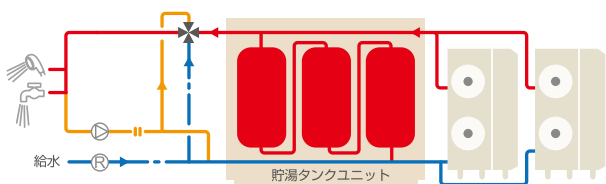


- ・既設タンクに接続可能
- ・TB-15ターミナルボックスを取り付け、サーミスターを貼る



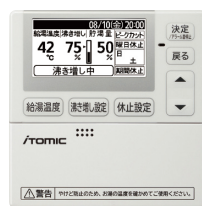
TB-15
ヒートポンプユニットと
既設タンクを接続する
際に必要となります。

熱源機を複数台接続した場合



- ・小型のタンクを複数台接続するよりも省スペース
- ・熱源機複数台で加熱能力大
- ・施工がしやすい
- ・即湯循環システム対応

多機能リモコン



CHP-R15(別売)

定休日などの休止設定や、ピークカット設定、沸き増し設定などが可能な多機能リモコン。
沸し上げ温度は65℃、70℃、75℃、80℃、85℃、90℃、自動の設定が可能です。

価 格

表示価格は税抜きです。

種 別	型 番	希望小売価格※	貯湯量(L)	構 成
ユニットシステム	CHP-151005	¥3,000,000 (標準仕様)	500	熱源機1台+タンク1台
	CHP-151005F	¥3,250,000 (寒冷地仕様)		
熱源機	CHP-15HF	¥1,740,000	-	熱源機1台+TB-15ターミナルボックス1台
リモコン	CHP-R15	¥50,000	-	リモコン1台

※タンクの貯湯量1,000L、1,500Lは、500Lに対しそれぞれ¥100,000UP、¥200,000UPとなります。

関連商品のご紹介

価格はお問い合わせください。

風向ガイド

吹き出す方向が窓や通路側の場合に使用します。

防雪フード

雪対策として積雪・凍結の被害を小さくします。

高置台

熱源機を800mm底上げします。積雪の深い地域などで使用します。

上部固定金具／ワイヤセット

転倒防止のための金具セットとワイヤセット。

ご購入前のご確認ください

①井戸水のご使用は製品の寿命に影響を与える場合がございます。ご使用を検討されている場合は必ず事前にご相談ください。②設置予定地域の騒音規制等に準拠する設置環境をご確認ください。また、必要により防音壁等の設置をご検討ください。③熱源機およびタンク容量等の選定につきましては、事前にご相談いただくことをおすすめいたします。

仕様表

◆下記は日本冷凍空調工業会規格(JRA4060:2014)に準拠

沸かし上げ温度		℃	65～90
電源			三相200V 50/60Hz
最大電流		A	24
冷媒側設計圧力		MPa	低圧側8.0 / 高圧側13.2
最高使用圧力		kPa	500
製品質量／運転質量		kg	174 / 177
圧縮機	形式	模型密閉式スクロールコンプレッサ	
	電動機形式	DCブラシレスモータ	
	定格出力	1.9kW×2台	
クランクケースヒータ		－	
送風機		プロペラファン47W×2台	
ポンプ		DC280V-30W	
空気熱交換器		強制空冷式クロスフィンチューブ	
給湯熱交換器		螺旋型接触式	
保護装置		冷媒圧力保護 / 過電流保護 / 温度上昇防止	
冷媒名 / 封入量		CO ₂ / 1.18kg × 2サイクル	
1日の冷凍能力		トン	2.6
使用外気温範囲		℃	一般地 -5～43 / 寒冷地 -20～43
運転音 (中間期)		dB	49
貯湯タンク ユニット	最高使用圧力	kPa	190
	最大給湯流量	L/min	70
	タンク材質	-	SUS444相当
塗装色	熱源機	ベージュ (マンセル値 5Y7/2)	
	貯湯タンク	アイボリーホワイト (マンセル値 5Y 7.5/1.8分艶)	

- 【注意】
- ・エコキュートは貯湯式の為、有効貯湯量は安全率（自然放熱）を見込んだ貯湯量（8割程度）として下さい。
 - ・消費電力は圧縮機、送風機、ポンプを含むユニット全体の合計です。
 - ・本機器は減圧弁を内蔵していません。給水一次側には必ず減圧弁（170kPa以下）を取り付けて下さい。
 - ・熱源機保護の為、必ず水道水を使用し、給水温度は「65℃以下（但し凍結しないこと）」でお使い下さい。

性能仕様

◆下記は日本冷凍空調工業会規格(JRA4060:2014)に準拠

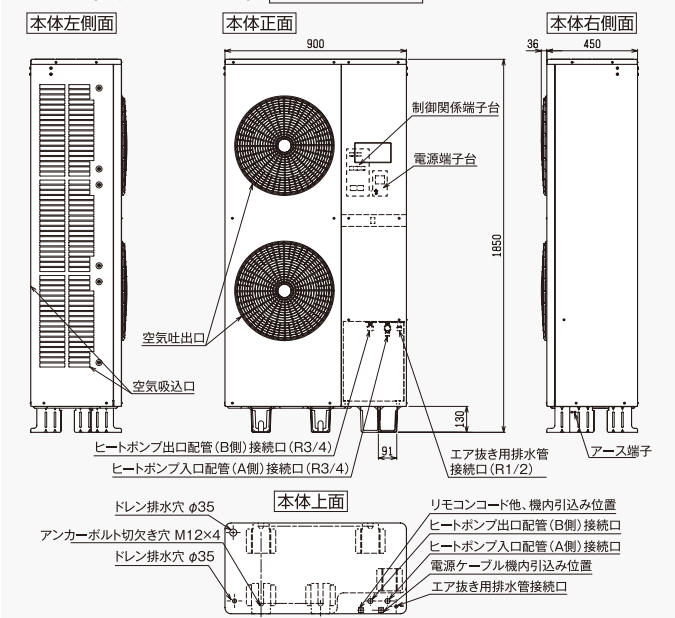
気温 DB / WB		℃	寒冷地冬期 DB-7 / WB-8	普通期 DB2 / WB1	冬 期 DB7 / WB6	中間期 DB16 / WB12	夏 期 DB25 / WB21
65℃出湯 一定モード	加 熱 能 力	kW	13.0	14.0	15.0	15.0	15.0
	貯 湯 能 力	L/h	186	201	230	269	315
	入 水 → 出 湯	℃	5→65	5→65	9→65	17→65	24→65
	消 費 電 力	kW	5.09	4.67	3.60	3.40	3.13
	年間加熱効率		4.2				
90℃出湯 一定モード	加 熱 能 力	kW	13.0	14.0	15.0	15.0	15.0
	貯 湯 能 力	L/h	132	142	159	177	195
	入 水 → 出 湯	℃	5→90	5→90	9→90	17→90	24→90
	消 費 電 力	kW	5.90	5.38	4.68	4.48	4.16
	年間加熱効率		3.5				

水質基準 冷凍空調器用水質ガイドラインJRA-GL-Q2-1994に準ずる

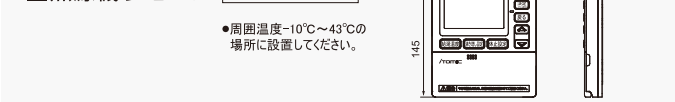
項目	基準値		傾向	
	補給水	循環水	腐食	スケール生成
pH (25℃)	7.0～8.0	7.0～8.0	○	○
電気伝導率 (25℃) (mS/m)	30以下	30以下	○	○
塩化物イオン (mgCl/L)	30以下	30以下	○	○
硫酸イオン (mgSO ₄ ²⁻ /L)	30以下	30以下	○	○
酸消費量 (pH4.8) (mgCaCO ₃ /L)	50以下	50以下	○	○
全硬度 (mgCaCO ₃ /L)	70以下	70以下	○	○
カルシウム硬度 (mgCaCO ₃ /L)	50以下	50以下	○	○
イオン状シリカ (mgSiO ₂ /L)	30以下	30以下	○	○
鉄 (mgFe/L)	0.3以下	1.0以下	○	○
銅 (mgCu/L)	0.1以下	1.0以下	○	○
硫化物イオン (mgS ²⁻ /L)	検出されないこと	検出されないこと	○	○
アンモニウムイオン (mgNH ₄ ⁺ /L)	0.1以下	0.1以下	○	○
残留塩素 (mgCl/L)	0.3以下	0.1以下	○	○
遊離炭酸 (mgCO ₂ /L)	4.0以下	0.4以下	○	○

注1：傾向欄内の○印は、腐食または、スケール生成傾向のいずれかに関する因子を示す。注2：参考項目の成分も含有されると障害を起こす事は、はっきりしているが、含有量との定量的関係がまだ得られていないので基準項目に準じる値とする。

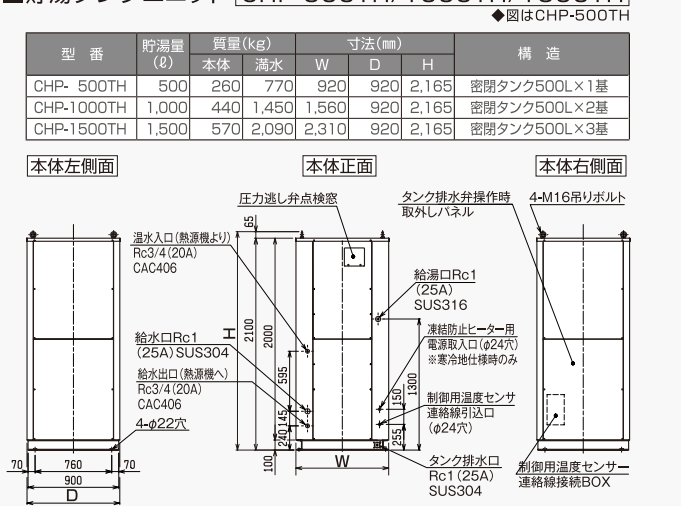
■ヒートポンプユニット CHP-15HF



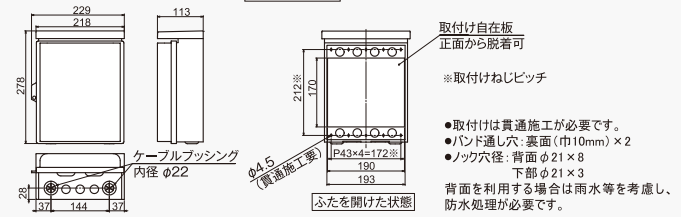
■熱源機リモコン CHP-R15



■貯湯タンクユニット CHP-500TH/1000TH/1500TH



■ターミナルボックス TB-15



【設置場所についての注意事項】

●据え付けは、販売店または専門工事業者に依頼してください。●据え付けは、質量に十分耐える所に確実に行ってください。●台風などの強風、地震に備え、所定の据え付け工事を行ってください。●可燃性ガスの漏れるおそれがある場所への設置は行わないでください。●機器を移動再設置する場合は、販売店または専門業者に依頼してください。●基礎に固定されているか確認してください。●塩害地(海浜地区で潮風が直接当たる場所)、油(機械油を含む)の飛沫や蒸気所、温泉地等の硫化ガスの発生する所、船舶・車両など、特殊な場所には据え付けしないでください。(塩害処理は耐塩害仕様と耐重塩害仕様があり、別途費用がかかります。)●高周波が発生する機械がある所は避けてください。●搬入試運転、日常の保守のため、メンテナンススペース、風吸込みスペース、通路、手すり等を確保してください。●設置場所までの経路ではタラップ、鉄梯子、ハッチ等は安全のため避けてください。●熱源機の吹出口、吸込口の近くに障害物を置かないでください。性能が低下したり、保護装置が働いたりし、運転ができないことがあります。●強い風が熱源機の吹出口に向かって吹きつけるおそれのある所は避けてください。●降雪地区でのご使用の場合、熱源機に防雪フードと高置台などを取り付けてください。また、積雪により製品が埋まったり天板に積雪しないよう、雪よけを設置するか、あるいは雪かきを行ってください。●山間部や樹木の多い場所では、ネットの取付等の落ち葉対策を講じてください。●貯湯槽ユニットは、タンク内の湯水を排水するための排水溝を設けることが可能な場所に据え付けてください。また、火山による降灰等が発生する地域での設置には、ドレン水の詰りが発生しやすいので、ドレンエルボ部分は取り外して清掃できるようにしてください。●運転音や振動が他へ伝わり増大したりしないよう強度が十分な場所を選んで機器を設置してください。●異常音が発生しないよう基礎の強度、水平度を充分確認して据え付けてください。●熱源機の吹出口からの冷風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選んで機器を設置してください。●ヒートポンプユニットは屋外に据え付けてください。●ヒートポンプユニットは沸し上げ中や沸き増し中、および凍結防止運転中には運転音が発生し、冷風が出ますので、住宅近くやご近所の迷惑になる場所には据え付けしないでください。ヒートポンプユニットは夜間にも運転しますので特にご注意ください。

【電気工事についての注意事項】

●電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および据え付け説明書に従って施工し、必ず専用回路を使用してください。●配線は、所定のケーブルを使用し確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないよう確実に固定してください。●漏電ブレーカを取り付けてください。●ブレーカの定格および電線の太さは内線規程に定められたものを使用してください。●アース線を必ず接続してください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。●アース(接地)工事は万一の感電事故防止のため、電気設備技術基準および内線規程および据え付け説明書に基づき、電気工事士による D 種接地工事(接地抵抗値 100Ω以下)を行ってください。●リモコン接続線は中継接続や、電源線と同一管内に収めないでください。●電源電圧 200V±1.0% 以内、相間電圧アンバランス 3%以内でご利用ください。●電力契約の種類によって、電気料金単価が異なります。

【配管工事についての注意事項】

●上水道に直接する場合は、当該水道事業者の条例に基づき認定水道業者が指定された配管材料を使って施工してください。●技術ガイドの水質基準に適合した水道水以外は原則として使用しないでください(保証の適用外になります)。井戸水などは腐食などにより漏水することがありますので、使用を検討されている場合は必ず事前にご相談ください。温泉水は使用できません。●使用方法に合わせた減圧弁を設置、設定してください。●各接続配管には必ずユニオン継手を使用し、給水接続口付近にはストレーナ、止水弁を取り付けてください。●給湯配管は100℃以上の耐熱性、耐食性を有する材料をご使用ください。(銅管、ステンレス鋼管等)●複数台を並列に接続する場合は、偏流を防止するため電動弁を取り付けてください。設置台数や使用方法により取付有無が変わりますので詳細は販売店にご相談ください。●階下への給湯を行う場合は、空気抜き弁・バキュームブレーカ・定流量弁などの負圧対策を行ってください。●異種金属を接続する場合は、絶縁フランジなどを使用して異種金属接触腐食対策を行ってください。●凍結のおそれがある場合には、凍結防止工事を行ってください。●タンク排水口は膨張水を排水するため、必ず開放とし排水ホッパーを設け、排水管は耐熱性・耐食性を有する材料を使用してください。(耐熱塩ビ管など) 高温の膨張水が排出される場合があります。